スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【宮城県白石市】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	宮城県白石市
担当課名	教育委員会生涯学習課
電話番号	0224-22-1343

1．自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

人口	31,229 人	部活動数	5 部活
公立中学校数	5 校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	754 人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

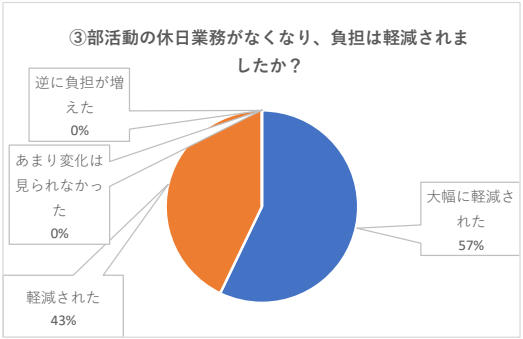
白石市においても、少子化に伴い、単一の学校では特定の競技種目の部を設けることが難しい状況が生じ、設置している部活動の精選が各学校の課題の一つとしてあげられている。また、競技、指導経験がない教員が運動部顧問をしている場合があり、心身ともに負担が大きい。さらに働き方改革の進展により、休日の部活動指導や大会引率を教員に担わせる体制の改善は求められており、持続可能性を検証していく必要に迫られている。

県内の教員に関する働き方改革は、重要な課題であり、部活動は大きな要因である。課題として、競技経験のない部活動を担当することによる業務負担、休日の部活動に係る業務時間の負担、そして学校の部活動顧問と地域部活動の指導者との連携体制の構築が挙げられる。令和3,4年度の実績を生かし本事業に取り組み、安心、安全な部活動の地域移行につなげていきたい。

③　部活動の休日業務がなくなり、負担は軽減されましたか？

（名）

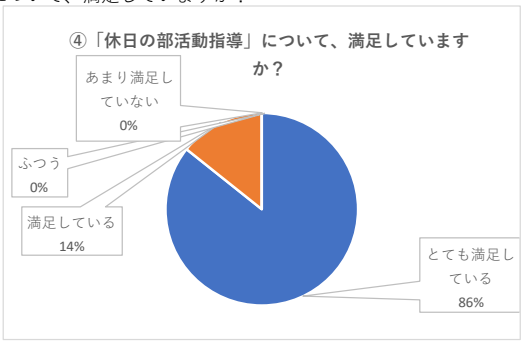
大幅に軽減された	4
軽減された	3
あまり変化は見られなかった	0
逆に負担が増えた	0



④　「休日の部活動指導」について、満足していますか？

（名）

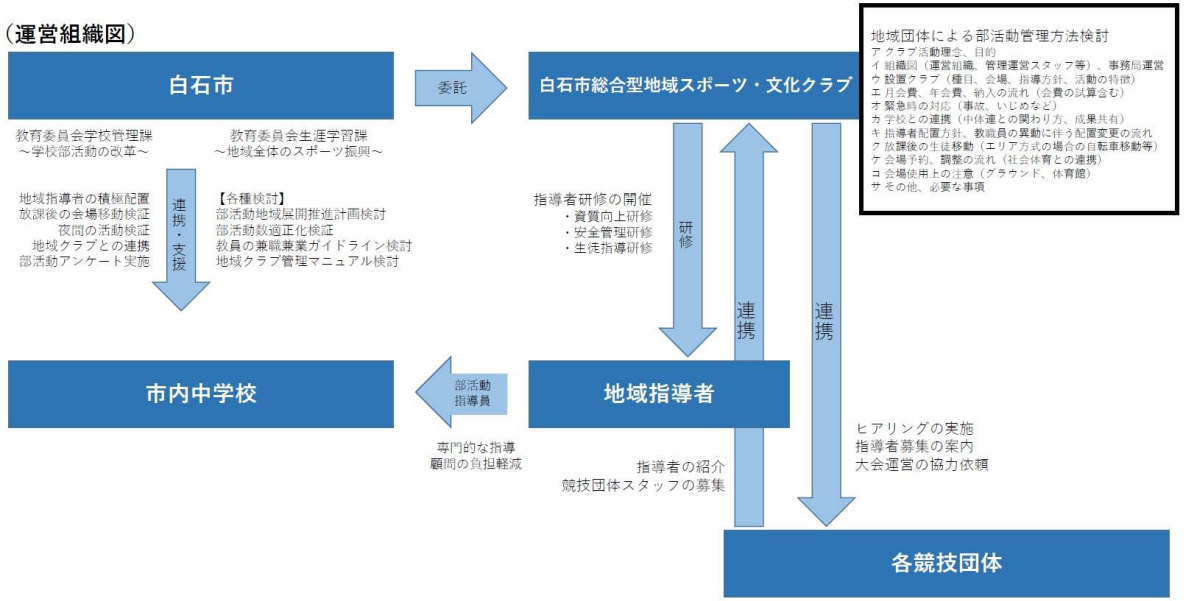
とても満足している	6
満足している	1
ふつう	0
あまり満足していない	0



2．実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● **教育委員会**（生涯学習課）
実証事業主管課、白石市総合型地域スポーツ・文化クラブとの連携

● **教育委員会**（学校管理課）
学校部活動、部活動指導員の調整

年間の事業スケジュール

4月　拠点校における実施準備、地域指導者向け研修会
5月　運動部活動の地域移行活動開始
6月　アンケートの実施（教員、生徒、保護者）
8月　拠点校実施協議会（アンケート結果、課題抽出）
11月　拠点校実施協議会（進捗状況）
12月　地域指導者向け研修会
1月　アンケート実施（教員、生徒、保護者）
2月　拠点校実施協議会（成果報告、次年度に向けた検討課題）
　　事業完了報告書、成果報告書等の作成

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	剣道、バレーボール、サッカー、陸上、卓球
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	5部活		

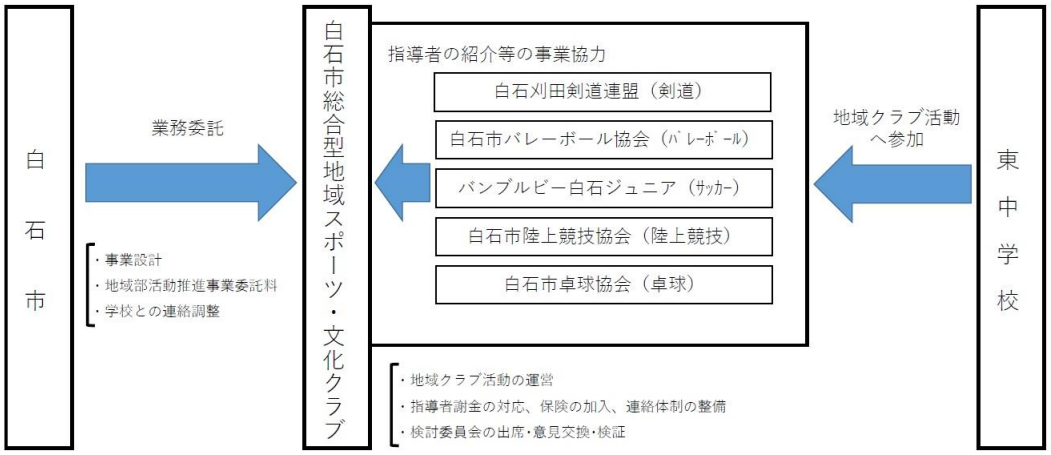
主な取組例

▼活動概要

拠点校名	白石市立東中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	5部活
地域クラブ活動で実施した種目	剣道、バレーボール、サッカー、陸上、卓球
運営主体名	白石市総合型地域スポーツ･文化クラブ
運営類型	地域スポーツ団体等運営型 （総合型地域スポーツクラブ型）
１か月あたりの平均的な活動回数	バレーボール：月３回程度 陸上：月３回程度
指導者の主な属性	協会所属（元教員）
活動場所	東中学校
主な移動手段	自転車、保護者による送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	０円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

（運営体制図）



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項	市・運営団体・関係団体・各中学校との総括的連絡調整、指導助言等を行う総括コーディネーターの配置
取組の成果	以前から課題となっていた、参加する生徒やその保護者、学校（校長、教頭）や該当する顧問、指導者との連絡調整を、しっかり部活動ごとに行い、生徒の欠席連絡等をスムーズに統括責任者や指導者に連絡が入るよう、連絡体制を整えた。 それに伴い、保護者にも活動の開始時と終了時の報告を行うことにつながった。
特に工夫した事項	モバイルメッセンジャーアプリケーションのLINEを活用し、加入申し込み時に各部のLINEグループにも加入してもらうことにした。 使い慣れている保護者も多く、スムーズな連絡体制が確立された。
今後の課題と対応方針	指導者と部活動顧問間でのやり取り、生徒と顧問間でのやり取りにとどまってしまい、統括責任者まで連絡がなかった事案があった。 説明会等で再度周知していく必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項	スポーツ協会と連携した、指導者の発掘、マッチング
取組の成果	以前から課題となっていた、教職員の兼職兼業で対応していたサッカー部の指導者を、スポーツ協会を通じてサッカースポーツ少年団の指導者にお願いすることができた。
特に工夫した事項	スポーツ協会内にとどまらず、スポーツ少年団まで範囲を広げ、指導者を確保することに成功した。
今後の課題と対応方針	現在、指導者が1～2名の体制で指導を行っているが、参加者が増加した場合、指導者の確保が必要となる。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項	拠点校や市内中学校に加え、地元の高校と連携し、合同練習会等の開催 公共交通機関やスクールバス等による送迎サービスの検討
取組の成果	生徒の技術力の向上、指導者の質の向上のため、各部活動において指導者とのつながりから、陸上では白石中学校や他市町中学校と、剣道では白石中学校と、卓球では白石工業高等学校との合同練習を行った。 合同練習をすることで他の地域とのつながりや、世代間交流・連携など構築することができ、生徒の技術力の向上、指導者の質の向上を含めて効果的な取り組みとなった。
特に工夫した事項	市内外の中学校とつながりがある指導者や、市内高校の顧問とつながりがある指導者が積極的に合同練習の企画を行った。
今後の課題と対応方針	公共交通機関やスクールバス等による送迎サービスの検討 休日での活動において活動場所が拠点校からから離れた位置にある場合、現在、保護者による送迎や、生徒が自転車を利用しての移動を行っている。今後、活動場所への移動方法について、検討していく必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項	これまでの部活動に加え、実施種目を増やす 拠点校以外の学校へ、説明、参加促進
取組の成果	以前から課題となっていた、拠点校以外の参加促進において、市内の中学校に対し次年度の運動部活動の地域移行についてアンケート調査を実施し、3校中2校について取り組む意向を確認している。
特に工夫した事項	現時点で実現が可能な、東中学校で実施している5つの部活動に絞って、中学校ごとにいつから実施してほしいか、学校に寄り添って調査を行った。
今後の課題と対応方針	今後、現在実施している東中学校も含めて、各校と調整し、参加者の増加へとつなげていきたい。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項	世代間交流に関する取り組み（高校生や大学生等との合同練習） 多様なスポーツに親しむ機会の確保
取組の成果	卓球において、白石工業高等学校との合同練習を実施し、世代間交流を図った。 他の競技でも合同練習を行うことで学校施設のみの利用ではなく、市内外の環境が整った施設を利用して練習を行うことができた。充実した練習環境が生徒の技術向上につながった。
特に工夫した事項	高校生と合同練習をしたことにより、高い技術を習得することができ、内容の充実を図ることができた。
今後の課題と対応方針	今後は、多様なスポーツに親しむ機会の確保を検討していく必要がある。

2．実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項	適正な受益者負担のあり方・納付システムの確立、保護者負担経費の調査 困窮世帯の参加費用負担の支援体制構築、多様な財源の活用検討
取組の成果	県内の状況を調査し、以下２校の実証事業について状況を確認した。 ・角田市については、国の補助金と市の予算で運営を行い、今年度は受益者負担なしで活動を行っている。 ・古川黎明中学校ではリーフラス株式会社が実証事業を請け負っている。年会費2,000円（保険代として徴収）を徴収しているが、市と学校、リーフラスの協議のもと徴収する事を決めた。決定した際は、受益者負担の理解を得る為に県の担当も交え保護者説明会を実施した。現在の状況は、保護者からの徴収金について不満はない。
特に工夫した事項	県内の状況を調査し、現在実施しているところでの実証事業について状況を確認し、受益者負担額をいつからどのぐらい徴収するのがいいのか見極めている。
今後の課題と対応方針	自立した運営を目指すためには、受益者負担は必要であると考える。古川黎明中学校の事例にもある通り、保険料程度の会費を徴収とするのが当面妥当であると考察するが、徴収にあたっては保護者の理解を得るため丁寧な説明が必要であると考える。

2．実証内容と成果

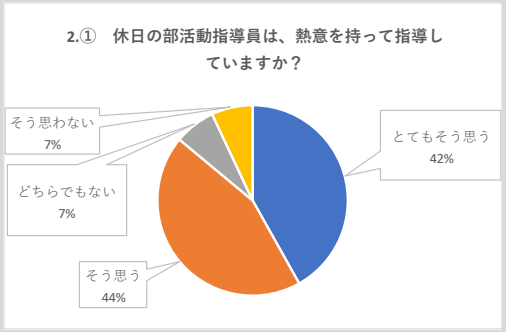
参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

生徒（全体）

2.①　休日の部活動指導員は、熱意を持って指導していますか？

（名）

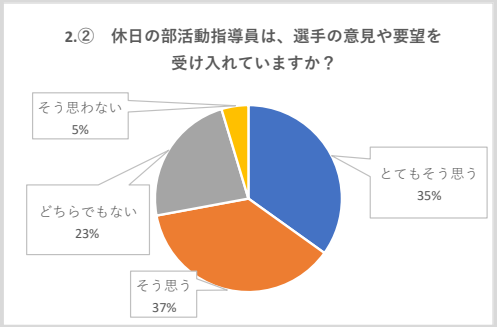
とてもそう思う	18
そう思う	19
どちらでもない	3
そう思わない	3



2.②　休日の部活動指導員は、選手の意見や要望を受け入れていますか？

（名）

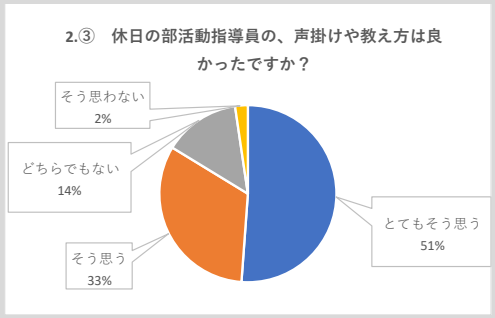
とてもそう思う	15
そう思う	16
どちらでもない	10
そう思わない	2



2.③　休日の部活動指導員の、声掛けや教え方は良かったですか？

（名）

とてもそう思う	22
そう思う	14
どちらでもない	6
そう思わない	1



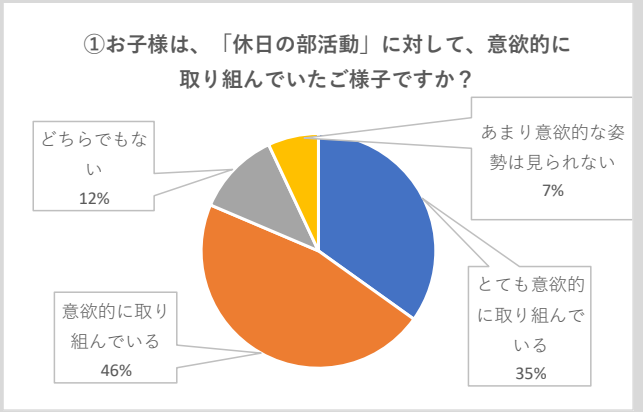
【アンケート結果（生徒）】

保護者

①　お子様は、「休日の部活動」に対して、意欲的に取り組んでいたご様子ですか？

（名）

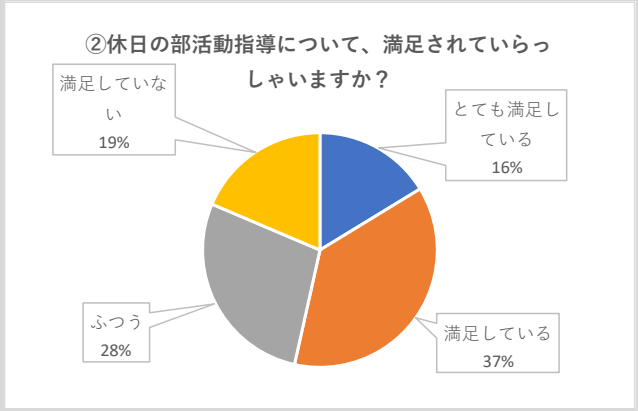
とても意欲的に取り組んでいる	15
意欲的に取り組んでいる	20
どちらでもない	5
あまり意欲的な姿勢は見られない	3



②　休日の部活動指導について、満足されていらっしゃいますか？

（名）

とても満足している	7
満足している	16
ふつう	12
満足していない	8



【アンケート結果（保護者）】

2．実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【剣道・基本動作に大切な足さばきを中心とした身体作りの指導】



【バレーボール・レシーブ等基礎練習】



【陸上・下半身と体幹強化の指導】



【卓球・ボールの打ち方、受け方の指導】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和2年　　**令和3年**　　**令和6年**

協議会設置、検討開始 → 受け皿団体や指導者の選定、拠点校の選定 → 学校現場との調整 → 生徒、保護者への説明 → 地域クラブ活動の開始 → 地域クラブ活動の拡大

●指導者

・経緯

拠点校が行っている運動部の中で、指導者の確保ができる受け皿団体を選定した。

・実施にあたって生じた課題

定例的、長期的に対応可能な指導者をどのようにして確保していくか。

・実施内容、工夫した点　等

市スポーツ協会の協力もあり、剣道部、陸上部、卓球部においては各競技団体からの推薦により指導員の確保ができた。

バレーボール部においてはボランティアコーチとして参加していた保護者に依頼せざるを得なかった。

サッカー部においては、顧問の兼職兼業を依頼せざるを得なかった。

●教職員

・経過

拠点校の選定を踏まえ、学校現場と、練習方法等の情報共有など具体的な調整を実施した。

・実施にあたって生じた課題

学校部活動顧問と地域指導者との連携とその方法。

・実施内容、工夫した点　等

実証事業導入後、最初から地域指導者のみでの活動をするのではなく、学校部活動顧問と並走で活動することにより、練習方法等の情報を共有しながら進められたため、スムーズに連携することができた。

●保護者

・経過

保護者向け事業説明会を実施し、趣旨や目的、課題や方向性の説明を行った。

・実施にあたって生じた課題

新たに始まる活動の概念を上手に伝えられるか、将来的には受益者負担が伴うことを理解してもらえるか。

・実施内容、工夫した点　等

事業説明会に多くの保護者が参加できるように、平日の夜に開催した。新型コロナウイルス感染への不安等による不参加を想定し、参加できなかった方には、後日資料を送付することを事前にお知らせした。

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

白石市教育委員会　部活動改革スケジュール（案）

